

飼育コウノトリが死亡しました

保護増殖センターで飼育していた J111 (1992 年生れ、オス) が、1 月 31 日に死亡が確認されました。1 月 30 日に食欲廃絶の状況となり、翌 31 日には左脚の跛行及び腫脹が確認され、治療の為に捕獲し郷公園に運ばれましたが、午後 3 時 58 分に死亡が確認されました。死亡原因は、現在調査中です。

平成 21 年度 特別観察会「冬の動物・野鳥観察」と「子どものための野生復帰講座」第 8 回を同時開催しました

1 月 30 日(土) 午前中に郷公園にて行いました。最初に、冬の動物・アニマルトラッキング・フィールドサイン・野鳥観察等についての話をしました。その後、野外観察に出かけました。15 種類の野鳥を確認しました。



コウノトリ・サイエンスカフェ (鶴見カフェ) のお知らせ

話題提供者：中川 瑠美 氏 (京都大学 大学院生)
 日時：平成 22 年 2 月 21 日 (日) 16:00 ~ 17:30
 場所：サンストークアベニュー内 なごみ茶屋 (豊岡市中央町 3-37)
 定員：約 25 名 (申し込みは不要です。当日、会場にお越しください。)
 コーヒー等の飲み物・ケーキ代 500 ~ 600 円程度が必要です。



コウノトリの羽数 (H22.1.31 現在)

1 飼育コウノトリの羽数

	オス	メス	計
県立コウノトリの郷公園	31	35	66
附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター	15	15	30
山本放鳥拠点(方法 2: H21.9.27 着手)	1	1	2
計	47	51	98

* 山本放鳥拠点にいる個体は、飼育コウノトリとして数えます。

2 野外にいるコウノトリの羽数

	オス	メス	不明	計
放鳥コウノトリ	9	11		20
野外繁殖により増えたコウノトリ	2	10	3	15
計	11	21	3	35

放鳥の方法



問い合わせ先
 兵庫県立コウノトリの郷公園
 〒668-0814 豊岡市祥雲寺字二ヶ谷 128 番地
 TEL: 0796-23-5666
 FAX: 0796-23-6538

E-mail : kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
 URL : http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
 開園時間：9:00 ~ 17:00
 休園日：毎週月曜日 (休日に当たるときはその翌日)・12月28日~1月4日

いきもの通信

No.150

兵庫県立コウノトリの郷公園
 Hyogo Prefectural Homeland for the Oriental White Stork
 平成 22 (2010) 年 1 月 31 日編集
 平成 22 (2010) 年 2 月 10 日発行

野外のコウノトリ 繁殖期へ・・・

今年もそろそろ繁殖に向けた行動がみられるようになってきました。平成 22 年 1 月 31 日現在の様子をお知らせします。

昨年営巣した場所とペア	今期の様子
百合地地区人工巣塔 J0275 (2000 年生れ、オス) J0228 (1998 年生れ、メス)	昨年 10 月下旬から巣塔近くの電柱に巣材を運び始め、1 月初旬にマウンティング(注 1)が確認されるようになる。それ以降、マウンティングの確認された回数が増え、本格的に繁殖期に入っているとと思われる。 1 月 30 日 撮影
戸島地区人工巣塔 J0391 (2004 年生れ、オス) J0294 (2001 年生れ、メス)	昨年 12 月 15 日頃から、人工巣塔付近で目撃されるようになり、1 月 9 日人工巣塔においてマウンティングが確認された。
赤石地区人工巣塔 J0389 (2004 年生れ、オス) J0384 (2004 年生れ、メス)	1 月に入りペアでいることが多くなり、1 月 18 日人工巣塔においてマウンティングが確認された。1 月 30 日には、3 回のマウンティングが確認された。

野外には、上記以外にも昨年に産卵したペアがいます。その中には、放鳥個体(オス)と野生個体(メス)のペアもいます。その野生個体(メス)は、昨年 9 月から郷公園を離れ愛媛県に行っていました。1 月 10 日から郷公園で確認されるようになりました。

今年の繁殖はどうか、今後の行動がとても楽しみです。

* 注 1：通常鳥類学では交尾前にオスがメスの背中に乗ること

前号でお知らせした 2 羽のコウノトリの死亡原因について

J0018 (平成 21 年 12 月 25 日、石川県羽咋郡宝達志水町で死亡確認) の死亡原因は、降り立った池から抜け出せずパニックに陥ったことによるショックだと考えられます。

また、J0398 (平成 21 年 12 月 29 日、三重県鳥羽市浦村町で死亡確認) の死亡原因は、低栄養による循環不全と考えられます。

野外のコウノトリでは、これまでに移動していなかった方角へ長距離移動していた 2 羽でした。